

事業名

年中行事といけばな・子どもたちとともに誇れる&語れる上京へ!

■事業報告

京都の年中行事の由来を学び、花(いけばな)を通じたワークショップや体験会を開催(毎月第2土。8月1月除く)。

生活文化が根差した京町家を会場に開催。未来を担う子供たちの育成、文化と伝統をいかした賑わいのまちを目的に開催。

また、上京区が140周年を迎え150周年につなぐ取り組みとして、後世に残すため主要な五節句の取り組みは撮影を強化しSNSとHPで発信。さらに、子どもたちの参加を促し、伝統文化の魅力を伝える力を身に着けることを目的に、プロのナレーターを講師に話し方、伝え方を学び、実践。上京に住んでいることを誇りに思い、コミュニケーション能力を高めることで文化、多様な考え方に触れる契機とした。

取組内容

事業内容:年中行事といけばな「花と町家で楽しむ会」

実施日時:毎月第2土曜 11時~12時30分(8月・1月除く)

会場:ギャラリーbe 京都(京都市上京区)

講師:嵯峨御流いけばな 石川利佳甫先生

参加人数:各回 7~15名/梶の葉流し体験約 100名

取組内容

事業内容:プロのアナウンサーから自己紹介を3ステップで学び、コミュニケーション力をたかめよう!自己紹介編

実施日時:令和2年1月19日 13時30分~15時

会場:ギャラリーbe 京都(京都市上京区)

講師:ボイスコネクション 轟美穂先生

参加人数:親子 14組



年中行事を花と町家で楽しむ会

毎月の年中行事といけばな、子どもたちとともに誇れる上京へ

今日に至るまで日本で伝承されている年中行事、嵯峨御流いけばなの石川利佳甫先生とともに、それらの魅力を学び、お花を通じたワークショップや体験会の開催。

できるだけ生活に根差した形でやりたいという希望をこめ、会場は約200年以上歴史が誇る御茶屋チャラー be 京都。ご家族での参加も大歓迎です。おうちでもやってみよう!と心にとまるとなればはじめても大丈夫。こんな気持ちでお待ちください。当日は嵯峨御流の御流いけばなを体験し、お花を通して学びたい方、お気軽にご参加ください。

文化継承のため、子どもたちとともに話し方講座の開催も予定しております。

開催時間 11:00~12:00 **参加費** 各回 1000円

日程

- 9/14 (土) 【お正月】……ススキと割餅を和紙に包む。
- 10/12 (土) 【春の節句】……食卓と壁紙を折り、蜀葵または紫雲英の紋紙、空を模した紙を折り、花菱紙の制作など。
- 11/9 (土) 【秋の節句】……ハロウィンランタンを作ろう。
- 12/14 (土) 【クリスマス】……ツリーづくりなど。
- 2/8 (土) 【お正月】……餅つき、お雑煮。

特別開催

「伝統菓子 - 餅せねを味わおう!」
10/12(土) 14:00~15:00
参加費 700円 (定員 15名) (予約優待)

餅つき体験は、お花と結び合わせて行う予定です。
当日は、お花の作り置き、お花の飾りつけを行います。
※参加費は別途お申し込みください。

会場 be 京都 **お問い合わせ** be 京都エデュケーションプロジェクト
〒602-0064
京都市上京区新町最上立売上がる安楽小浜町 429-1
URL: <http://www.be-kyoto.jp>
TEL: 075-417-1315 mail@be-kyoto.jp



プロのアナウンサーから自己紹介を3ステップで学び、コミュニケーション力を高めよう!

2020.1.19(日) 13:30~15:00

「書くことと話すことは違いますが、どのようにまとめ、人に伝えるのか。」
経験豊富なプロのアナウンサーを講師に、「自己紹介」を3ステップで学びます。
目的は、この講座を通じて自分の伝えたいことを上手に伝えること、コミュニケーション力を高めること。
自分が自信を持って話せ、伝えている時のことや活動の場などに活用できるような実践に必ずや取り組んでいただきます。

1 準備、講師の自己紹介を学ぶ。 **2** 自己紹介の練習。 **3** 自己紹介の発表。

参加費 1000円 **講師** 轟 美穂 **会場** be 京都和室 **定員** 20名

対象 小学生以上

申込 1/15(水)までにメールにてお申し込みください。
この日からのご連絡をもって受付完了いたします。
*お名前・年齢・ご連絡先 TEL/メール、その他(小学生の場合は保護者同席をお願いします。)

会場 申込先 be 京都
京都市上京区新町最上立売上がる安楽小浜町 429-1
TEL: 075-417-1315 / MAIL: info@be-kyoto.jp
URL: <http://be-kyoto.jp>

■活動写真



◀ 梶の葉流し・七夕花扇の様子。

梶の葉に想いをたしなめ、川にみたてた水盤に浮かべた。天の川まで届きますようにの願いを込めて。笹飾りも実施し、100名以上の参加者があった。西陣織の糸まきなども床の間に展示。親子参加も目立った。



◀ いずれも熱心に話をきき、参加してくれました。伝統菓子着せ綿を味わおうも好評で、食の視点からもおもしろい取り組みができることを実感。



▲ 話し方講座

文章をまとめる力、発表の力、声の出し方など人前で発表する力がつき、大変好評な講座となりました。

○ 連携・活動の広がり

参加型の有料企画はどうしても対象に限られるが、七夕の梶の葉流しでは、参加無料でみなさんに願い事を書いて飾っていただきました。葉は実際の梶の葉と多羅葉というハガキのもとになった葉をたくわんわけていただき、開催することができました。梶の葉は御霊神社様にお焚き上げていただきました。地域性もあり、特に京町家の外観に飾ることができた紫陽花吊り飾りや軒菖蒲は、そこから会話が広がり来年はやってみたい、昔やっていたなつかしい、など会話が広がった。

○ 気づいた点

年中行事ではリピート参加や親子参加も増え、継続して取り組む事の意味を感じました。話し方を磨く講座では子どもたちそれぞれの自己紹介を講師がうまく引き出し、町づくりにも応用ができそうです。文章をまとめる力、それを言葉で伝える方法を学び継続した講座需要がありました。今後の上京の取り組みで力をいれたい分野になりました。ありがとうございました。